



第3号

岩手県立花泉高等学校

岩手県一関市花泉町字花泉字林の沢 17-9

TEL 0191-82-3363 FAX 0191-82-5448

URL: http://www2.iwate-ed.jp/han-h/

3年生就職・進学試験スタート！これまでの取組を自信に全力受験！



進路実現のための就職・進学試験が始まりました。これまで課外、模試、面接練習、小論文対策の他、各種ガイダンスや週末課題など多くの対策を実施、3年生は合格するために、一生懸命取り組んできました。就職については、全国統一選考日が例年より1ヶ月繰り下げとなり、10月16日に試験のスタートとなりました。コロナ禍の中で全国的に長い休校期間があったため、生徒の対策遅れに対する措置がとられたものです。試験日直前の10月13日に就職選考試験激励会が行われました。校長先生や進路指導課長の大内先生、3学年の

尾形先生から激励のことがばが贈られました。これに対して、生徒を代表して千葉唯斗さんが感謝と決意を込めたことがばを述べました。進学については、推薦入試が始まっており、専門学校は今月始めから、4大短大の多くは11月下旬の試験日となっています。小論文・面接対策を中心に、担当する先生方から毎日指導を受け対策に励んでいます。これまでの「センター試験」に代わる「共通テスト」の出願も終わり、一般受験者と推薦受験者ともにいよいよ本番となります。

これまでの取組を自信に全力で頑張りました！



学年長からの激励のことがば



代表生徒による力強い決意表明



個人ごとの小論文指導

1・2年進路ガイダンス 10月8日・15日(木)

1・2年生を対象とした外部講師による進路ガイダンスが2週にわたって行われました。2年生の講師として、長年高校生に進路対策について指導されている、青森ファイナンシャルアカデミー代表の菅原伊佐雄先生をお招きしました。職業選択や学校選択、費用・奨学金他、幅広い観点から講演いただきました。高校での進路選択は、単に会社を決める、大学を決めるというものではありません。自分の将来を考え、人生設計をデザインしてみることが必要です。そのために1・2年生のうちから取り組むことが大切になります。

菅原先生のお話を紹介します。自分の意思が何かをあらためて考えてみましょう！

◎自分の意思を確認する。

自分の人生を考えると、自分の人生の責任は誰が取りますか？

友達ですか？ 保護者の方ですか？ 先生ですか？

自分の人生の責任者は自分です。

だからこそ、自分の人生設計をしっかり考える必要があります。



菅原 伊佐雄 先生



進路選択・実現に向け真剣に参加する2年生

P T A声かけ運動 9月9日～11日

生徒の登校時間にP T Aの声かけ運動が行われました。今年のP T A活動は、コロナ禍にあって「日本一のもちつき大会」「P T A研修旅行」など多くの行事が中止になりました。その状況で、早朝にもかかわらず多くの保護者の皆様に参加していただき、ありがとうございました。あいさつ

ができることは社会人の基本です。また、花高生の目標の柱のひとつでもあります。あいさつを気持ちよくできるように普段から心がけていきましょう！



2学年修学旅行 日程・旅行先を再検討

12月に予定されていた2学年修学旅行を中止することといたしました。安全面を第一に考え、実施に向けて昨年から準備を進めてきましたが、現在の新型コロナウイルス感染状況を考えた判断となりました。夏休み明けの意向調査では、旅行の安全・安心が確保されると判断できる場合においても、保護者・生徒半数以上が「参加させたくない」「参加したくない」と回答、多くの人が不安を感じている状況でした。これを払拭することは難しく、感染が疑われる症状が出た場合の影響も大きいと予想され、中止といたしました。

10月9日には2学年P T Aを開催し、状況について説明をさせていただきました。代替案を現在検討中で、日程と旅行先については、あらためてご提案いたします。

魅力化促進事業 「花泉まち vs キャップハンディ」 を体験した2日間 -

花泉支所・社会福祉協議会花泉支部・一関二高の支援協力による活動 9月11日・18日(金)



全体説明



白杖体験の指導



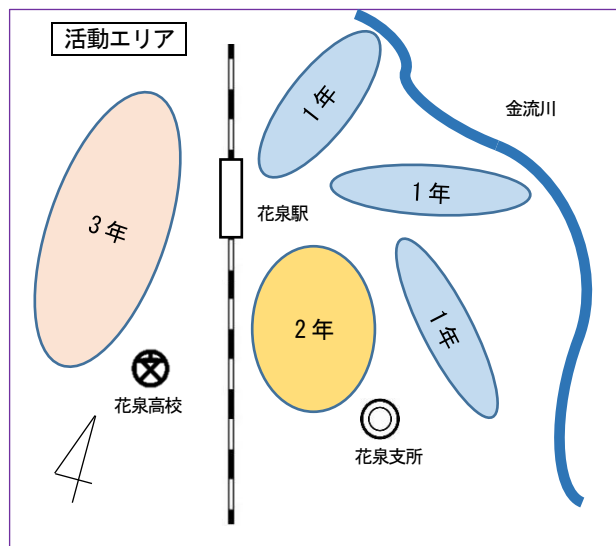
高齢者体験



車イス体験の指導

9月18日、障がいがある人や高齢者への理解を深める体験学習を行いました。障がい者にとってまちにはどのような課題があるか発見することを目的として、全校生徒が特殊なゴーグルやおもりを身につけて花泉のまちを巡りました。高齢者疑似体験、妊婦体験、車イス歩行体験、視覚障害者体験、全盲（白杖）疑似体験を全21チーム編成で行いました。それぞれ体験者、介助者、記録者、撮影者などの役割を決め、学年ごとエリアを区分しての実施となりました。また、道中に落ちているゴミを拾い集め、地域の環境美化にも貢献できました。県の「高校の魅力化促進事業」の一環で、一関市役所花泉支所、一関市社会福祉協議会花泉支部、一関二高から温かい協力をいただいて実施することができました。1週間前の11日には事前学習会を学校で開き、ユニバーサルデザインやバリアフリーとは何か、器具の扱い方などについて学びました。

花泉のまちを、いつもと視点を変えて見つめてみると、あちらこちらに問題点が見つかりました。これを課題化し、解決できれば花泉の活性化になることに気づくこともできました。御協力いただいた方々に感謝いたします。



高齢者 横断歩道



高齢者 狭い歩道



車イス 段差横断



白杖 広い歩道



車イス 段差確認



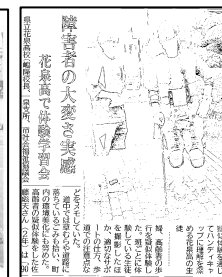
まとめミーティング



新聞取材



岩手日報掲載

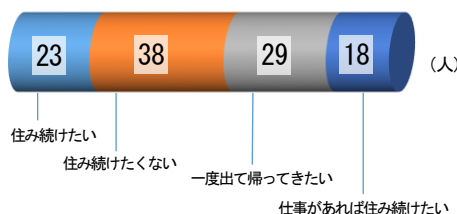


岩手日報掲載

モリウシ希望ネット花泉「まちづくり高校生アンケート」集計結果より

このまま「住み続けたい」より、「住み続けない」人が多く、将来の仕事に対する不安がその原因となっています。「他の地域で就職して戻りたい」と考える生徒も多く、課題のひとつなのかもしれません。他の地域に出ることは見聞を広めることでもあり、生徒にとっては大切なことです。一方、明るい未来のために若者に残ってもらいたいという想いは、地域の切なる願いでもあるのです。

▶ 花泉に住み続けたいですか？



▶ 住み続けたい理由は何ですか？

生まれ育ったまちだから	28
家族がいるから	15
自然環境や景観が良いから	10

▶ 住み続けない理由は何ですか？

買いたい物など生活に不便だから	20
働きやすい職場がないから	16
今の生活に満足できないから	13

実施日：7月9日

回答率：99.1%